

一般質問



宮本 議員

○玄海原発再稼働問題について

質 九州電力は来年度中にも玄海原発3、4号機を稼働させたいとの意向が新聞で報道されている。本市は原子力事故を想定して避難訓練等防災対策を実施しておりますが、市民にとっては生命と財産に係わる大きな問題です。九州電力とは安全協定を締結しておりますが、協定上は事前説明とされており、玄海原発が再稼働に向けて国の審査も進む中にあるため、市長は、再稼働に際し松浦市及び松浦市議会の同意を必要とする事前了解についてどのような見解ですか。

答 玄海原発の再稼働にあたっては、市の同意が必要であるとの考えから、現在の安全協定における事前説明を改めて事前了解とするように求めているところでございます。

質 万が一事故が発生し、全市民が避難した場合には、牛や豚、養殖魚などの家畜等は置き去りにされ、企

業等も休業に追い込まれます。予想される個々の損害等に対して、損害賠償に関する覚書を国と取り交わしておく考えはありますか。

答 原子力事故の場合の損害賠償については、原子力損害の賠償に関する法律に基づき、基本的には原子力事業者が全ての責任を負うということになっております。ご指摘の点についてもこの法律が適用されるものと理解しております。

○ふるさと納税について

質 自主財源を確保するという観点から取り組んで頂きたい。ふるさと納税に関してのポータルサイトでのトップはふるさとチョイスです。ぜひ本市もここに加入すべきだと思いますがどうですか。

答 ご提案のふるさとチョイスにつきましては、28年4月から加入したいと考えます。

一般質問



江 議員

○平成29年4月からの介護予防訪問介護・介護予防通所介護について

質 介護保険制度は来年4月から要支援認定の方の予防訪問介護と予防通所介護が、予防給付から市の総合事業に移行します。利用されている方からは、ヘルパーさんが来られなくなるこれまでのような自宅での生活ができなくなるのではないかと不安の声があります。要支援認定者数等の現状はどのようなになっているのか。

答 27年7月現在、65歳以上7千852人のうち要支援の認定者数が450人、訪問介護の利用者数が91人、通所介護の利用者数が103人の状況です。

質 事業移行に必要な受け皿の対応はどのようなになっているのか。

答 従来の訪問介護と通所介護及び市独自サービスは事業所指定か委託で、住民主体によるサービスは市の補助で、専門のサービスは市の直営で行いたいと考えています。

質 要支援認定者のサービス利用は確保できるのか。

答 従来どおり利用は可能と考えます。

質 サービス単価はどうなるのか。

答 国の基準の上限額を市の単価にしたいと考えています。

質 移行までの日程等はどうなるのか。

答 早いうちに事業者への説明を行い、現サービス利用の方には包括支援センター等から個々に、一般の市民の方には市報等で広報する予定です。

質 移行後、非専門職によるサービス提供では重症化の危険性が増し、その結果財政を圧迫する可能性があると考えますがどのような見解か。

答 関係業者と行政が一体となって、住み慣れた地域で安心して生活頂けるような対応に取り組めます。

○星鹿町への公営住宅建設の進捗状況について

質 現在の進捗状況はどうか。

答 市有地の旧星鹿保育所跡地に15戸程度の建設を見込んでいます。

質 旧星鹿保育所跡地に加えて空き家活用を考えている状況か。

答 整備方針としては、定住促進住宅建設と空き家の有効活用を組み合わせた考え方をしています。

質 星鹿町の子どもの見込み人数の検討はどのように考えているか。

答 星鹿小学校児童数を100名程度とすると30戸位の住宅確保が必要です。

質 事業化にあたり、財政的課題についてはどう考えているのか。

答 国の補助制度を活用して財源を確保したいと考えます。